

教材・支援機器活用実践事例(特別支援学校)

実践年度・タイトル		平成28年度
		奏法の理解を深める
授業について	教科名等 (該当する教科名等を選択。当てはまらない場合はその他を選択し、次の単元・題材名の欄に記入。)	<input type="checkbox"/> 国語 <input type="checkbox"/> 社会 <input type="checkbox"/> 算数/数学 <input type="checkbox"/> 理科 <input type="checkbox"/> 生活 <input checked="" type="checkbox"/> 音楽 <input type="checkbox"/> 図画工作/美術 <input type="checkbox"/> 家庭/技術・家庭 <input type="checkbox"/> 体育/保健体育 <input type="checkbox"/> 道徳 <input type="checkbox"/> 外国語/外国語活動 <input type="checkbox"/> 総合的な学習の時間 <input type="checkbox"/> 特別活動 <input type="checkbox"/> 自立活動 <input type="checkbox"/> 各教科等を合わせた指導 <input type="checkbox"/> その他の教科 <input type="checkbox"/> その他( )
	単元・題材名	ギターを弾こう
	授業の目標	・楽器の仕組みを知り、正しい楽器の扱いができる。 ・協和音や不協和音を判断することができる。 ・運指やフレットの押さえ方を覚え、簡単なメロディやコードを演奏できる。
	観点別学習状況の評価の観点 (教科の特性により設定した観点がある場合は「その他」を選択し記載。)	■「知識・理解」 ■「技能」 <input type="checkbox"/> 「思考・判断・表現」 <input type="checkbox"/> 「関心・意欲・態度」 <input type="checkbox"/> その他( )
学習集団と子どもの実態	学校・学部・学年・人数	■特別支援学校 <input type="checkbox"/> 就学前 <input type="checkbox"/> 小学生 <input type="checkbox"/> 中学生 ■高校生以降 <input type="checkbox"/> 特定されない 第3学年 18人
	対象の障害	<input type="checkbox"/> 視覚障害 <input type="checkbox"/> 聴覚障害 ■知的障害 <input type="checkbox"/> 肢体不自由 <input type="checkbox"/> 病弱・身体虚弱 <input type="checkbox"/> 言語障害 <input type="checkbox"/> 自閉症 <input type="checkbox"/> 情緒障害 <input type="checkbox"/> LD(学習障害) <input type="checkbox"/> ADHD(注意欠陥/多動性障害) <input type="checkbox"/> その他
	子どもの課題(特性・ニーズ)	<input type="checkbox"/> 見る <input type="checkbox"/> 聞く <input type="checkbox"/> 話す <input type="checkbox"/> 読む <input type="checkbox"/> 書く <input type="checkbox"/> 計算する <input type="checkbox"/> 推論する <input type="checkbox"/> 運動と姿勢 <input type="checkbox"/> 日常生活活動 ■不注意 <input type="checkbox"/> 多動性-衝動性 ■社会性・コミュニケーション ■覚える・理解する <input type="checkbox"/> その他 ・理解の程度などに実態差が見られるが、どの生徒も音楽を好み、授業に意欲的である。 ・日常生活では言語指示によりおおよそのことは理解できるが、体の感覚を伴う技能的な内容や抽象的な内容については、言葉のみの指示だけでは十分に理解することが難しい。
ICT活用について	使用した支援機器・教材の名称と画像 (使用した支援機器・教材の名称を記載し画像を挿入。なお、特定の製品に特化した実践の場合は製品名を記載。)	①デジタルビデオカメラ ②テレビ ③AVケーブル ④ギター 
	活用のねらい	Aコミュニケーション支援( <input type="checkbox"/> A1意思伝達支援 <input type="checkbox"/> A2遠隔コミュニケーション支援) B活動支援(■B1情報入手支援 <input type="checkbox"/> B2機器操作支援 <input type="checkbox"/> B3時間支援) C学習支援(■C1教科学習支援 <input type="checkbox"/> C2認知発達支援 <input type="checkbox"/> C3社会生活支援) 響きのよい音を出すために、フレットの押さえ方や運指、手の角度などについて視覚的に理解する。
授業に授け展開支援	授業展開と画像 (授業の様子、ICT活用場面の画像を挿入。)	・指導者の手元をテレビに映しながら、フレットの押さえ方や運指、手の角度などを説明・演示した。 ・よい押さえ方と、悪い押さえ方の見本を画面に映しながら、説明・演示した。 
効果・評価	子どもの様子や変容および授業の評価	・よい音を出せたときに嬉しそうにする様子を見せたり、他の生徒と音を出せたことの喜びを共有したりする様子が見られた。 ・よい押さえ方を確認しながら、演奏に取り組む様子が見られた。 ・押さえ方のコツを視覚的に理解することにより、コードを演奏できるようになった。